2021.11.20 第 131 号

「隠退教師を支える運動」 年金局・ 通信

退

教

師

41

兵庫教区・兵庫松本通教会牧師

東島

勇人

## ことになったのは、 であった澄田亀 って赴任した島切りて主任に初めて主任に 会においてでした。 隠退 根 担 関 郎 低県の益田と 1 9 9 8 7 8 係 $\mathcal{O}$ さん 前任者 方と最

長 ってこられた方ですから、 の学びや経験から本当 叩としての働きを上に年の離れた、40 度に二間 気にとっ

勇人牧師 に沢山 会のこと、聖 きました。ま を、教会や施 書の 読み のことを 方や

その働きに区切りをつけて「隠りをつけて「鳴立し、益田教と連として地域と連として地域と連 ば教にのス高携 です。 会転 や任 云いし、分区のはするまでのいっていかった。以来、現ちのまでのいった。 ご夫妻で 

会た

刊

に お

ける諸

のりました。そんよう さって平行線になることも 教会他の会合で意見が食い とで共感することもあれば、

ました。 疎ましいと思ったこともあに居られることを、不遜に 隠 退教 師 て同じ 不遜 場 も 所

られたことを、その言葉や生ち続け、そのように生きてこ人々や地域に仕える思いを持おいて弱く小さくされている は、 が生じた時に趣味でした。また、わる き様を通して知らされたから この時に至るまで、 での開拓伝道をされ 音にもとづき一貫して社会に れることなく共に歩 しかし、 澄 開拓伝道をされた時から澄田さんが最初に八郎潟ことなく共に歩めたの それ でも関 わだかまり 0 聖書の1 釣 ŋ が 福

る

原を一

日

[本海

0

緒に見ていると、

っていただい

たことがあ

会 L

た側なのだと感謝していまがら、私の方が忍耐されてい様々な思いがあったはずですがら、私の何倍もに向き合うには、私の何倍もに向き合うには、私の何倍ものがら、私の方が忍耐されている。今思えば、 り合い支え合う存在であるこ キリスト者、教師としては生 す。「隠退」しても一人の人間、 0 のちっぽけな心を恥じ、長年 業はすばらしいなぁ」と自分 とを強く実感した出会いでし 牧会者としてのさりげない 「現役」であ あ な気持ちは やっぱり神の り、互いに祈 吹き飛 の創造の h

その澄田さんが、ある時、教団年金があるおかげで何となっていました。「僕はね、ほとんどの期間小規模で付属施設のない教会の牧師だったから、公的年金も教団年金があるおかげで何とかケアハウスにも入れたし、社会や教団の中で苦労していた。「僕はない、ほとんどの期間小規模では、ほとんどの期間小規模を金も額が低いんだよ。でも、社会や教団の中で苦労していると思いる人よりは恵まれていると思いる。

ど、より具体的に知っていくい教師および遺族には十分ないをが支給されないことないをがするが、加入年数が低いとのでは、 
したくても出来ない方や、加き」があり、年金制度に加入 われた言葉が印 り教団の じ 中 ま で、 ています。 だよ」。 今その言葉の重みを感 0 中にも経済的 印象に残 社会は 虚にそう言 はもとよ つてい な 格 か

度も、そのような所に置かれ私たちの働きやそのための制 ては、術 遠いとされていた外国 誕 と整えられていくのだと思 との報せなのだと思います ヤ人から見れば神の救 れていた羊飼いたちや、 貧しさと過酷な労働 の人の解放がもたらされる の学者たちでした。 その人たちの解放から全 御心 や視点か に沿うも いから |の占星 それ 0

> 活と働 伝道 え、 きが、 ばと願っています。 の業を支えていくことになれ における多様な領域での宣言 それぞれの教師とご家族を支 の祈りや協力と補い合って、 ん。これからも教団年金 きたことは間違いあ ました。これまでの長年 Ó 澄 そのことによって教会/ 教団年金にも支えられ 生涯を終え、天に召 所はもとより、 田 さん 教区の互助や、 きが は 主の 導 この社会 8 りま きの 個 并 一々人 0 0 3 せ って 働 も

(ひがしじま はやと)



ます。

隠 退 教 師 を 支え る 運 動 • 10 0 円 献 金 XXXX

# 隠退教師を支える運動と私

東京教区千葉支区推進員 朝岡 瑞

運動」を知ったのは、今から 運動」を知ったのは、今から た頃のことです。それまでの 時間この運動のことは全く知 がらず、また隠退された先生方 のことを覚えることもなく過 のことを覚えることもなく過 がらだと思います。

れ、「支える運動」のお手伝教会の兄弟から強く勧めら1995年、 思いがけず他

いをすることになりました。 当時私の教会でもまだこの運 当時私の教会でもまだこの運 がはこの運動の成立ち、意義 がはこの運動の成立ち、意義 を知っていただくことから始 めました。しかし、すぐに教 を知って、個人的にお話しでき る方達だけにアタックしてい たので、最初の年は15名の協 たので、最初の年は15名の協 たので、最初の年は15名の協 たので、最初の年は15名の協 たので、最初の年は15名の協 たので、最初の年は15名の協

教会全体にアピールする時間教会全体にアピールする時間を与えられ、またオレンジの袋を全員の週報ボックスに入れさせていただけるようになの係を後輩にバトンタッチしの係を後輩にバトンタッチし

さん

瑞子

ます。 に協力いただけるように思い は、ある程度の期間関わって いただくのが良いよう下寧に いただくのが良いよう丁寧に

は、 て、 ピールしてきました。与えら 支区総会・婦人部集会等でア 千葉支区は池田節子姉 (鎌ヶ 送っています。 りますが、 で実を結ばないことも多々あ くださいました。教会の事情 お願いするのが上手な池 方を見つけると臆せず協 思っています。未参加教会の た活動ができているのかと れた賜物はそれぞれ違ってい 谷教会) と長年、二人三脚で 動」の広報活動をしています。 それぞれの方法で「支える運 東京教区では主に5支区 それぞれの賜物を生かし 多くの教会に種を蒔 私は横でエール 一方を いて姉 を が

数の少ない夫でしたが、最近介護真っ只中。元々家では口齢者世帯です。いわゆる老々齢、我が家は夫と二人の高

す。では余程の必要以外自分からでは余程の必要以外自分からでは余程の必要以外自分からでは余程の必要以外自分からでは余程の必要以外自分から

動の す。 り、 ことはないでしょう。 動が、隠退された先生の しょうか?そうした私達 1 がの とを心より感謝申し上げま 仰を養われ、今がありますこ た。その間多くの先生方に信 こまで来ることができまし る先生への励ましになるのだ か「隠退教師を支い思いを具体的にッ。信徒として、 0 信仰生活 ŏ 継承を心より 神様のお守りのうちにこ 円献 伝道の最先端で働 w金」ではないで教師を支える運動具体的に表せるの こんな素晴らし 55 年、 願うもの この感謝 かれ での行

(あさおか たまこ/船橋教会)

# 業務室より

# 一年金を受けている方へ 一年金給付のお知らせ

12月の定例給付のご案内をします。

# 送金内容

- ①<u>謝恩金</u>受給者 2021年度第4期分給付 (2022年1·2·3月分)
- ②<u>退職年金</u>受給者 2021 年度第3期分給付 (2021年10·11·12月分)
- 送 金 日 <u>2021年12月10日(金)</u> 期日に、ご指定の金融機関に入金されて いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2022年4月8日(金)

連絡先・年金振込先の変更は、できる 限り早めに、書状、Fax、e-mail の何 れかで、年金局までお知らせください。

- ☆去る10月8日の定例給付では、退職年金と謝恩金(遺族扶助料)、キリスト教教育主事退職年金、合わせて1億910万円を、718名の方に送金いたしました。なお、次回の給付は期間が空きますのでご注意ください。
- ☆『教団新報・年金特集』No.74 を同封しました。年金局ならびに「隠退教師を支える運動」の2020年度の決算報告をご覧ください。また2020年度に隠退され、受給者となられた33名の先生の内24名の先生方からお寄せいただいた近況を掲載いたしました。隠退されたすべての先生方、またご遺族の上に、主の豊かな祝福をお祈りいたします。
- ☆ 2022 年 1 月下旬に、『2021 年教団年金 計算書」をお送りいたします。確定申

告の際に必要な書類ですので、大切に 保管してご利用ください。なお、遺族 年金受給の方は不要の方が殆どですの で、お送りしていませんが、お入り用 の場合には年金局までご連絡ください。

- ☆今年の謝恩日は11月21日です。全国の教会・伝道所に献金のお願いをしてれた。 ります。長い年月、主の業に力を注述で来られた先生と支えてこられたで表した。 が、教送りいただけるようで表した日々をお送りなただけるようで表した。 と、1964年に掛金制度として教団、 退職年金が発足しました。以来、別日献金と「隠退教師を支える運動」100円献金が大きな支えとなり継続に運営によってはならないこの制度のためさった。 ります。今後も永続的に健全に連めたならないよの教会・伝道所と信徒のみないます。

(村山めぐみ)

日本基督教団 年金局「隠退教師を支える運動」推進委員会

HUNGONG CONTRACTOR CON

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 年金局 Tel: 03(3202)2080

mail: nenkin@uccj.org 支える運動 Tel: 03(3232)8005

mail: sasae100@uccj.org

Fax(両局兼用):03(3202)2081